別紙様式

＜農地・水・環境保全向上対策と連携して効果的な取組を実施している事例＞

○環境に優しい農業をめざして

１．集落協定の概要

市町村･協定名	岐阜県関市（せきし）　藤谷（ふじたに）			
協定面積	田（100%）	畑	草地	採草放牧地
10.36 ha	水稲			
交付金額	個人配分			30.0%
82万円	共同取組活動	マスタープラン実践のための活動		24.0%
	70（%）	鳥獣害対策、水路・農道の維持管理費用		24.0%
		その他		22.0%
協定参加者	農業者　24人、藤谷集落営農組合（構成員18人）			

２．集落マスタープランの概要

藤谷集落営農組合を担い手として農作業受託を進めるとともに、持続性の高い農業生産方式の導入（エコファーマー認定）により、環境に配慮した高付加価値型農業を実践していく。

［活　動　内　容］

農業生産活動等

- 農地の耕作・管理（田10.36ha）
  - 個別対応
- 水路・農道の管理
  ・区域内水路　年2回
  （清掃、草刈り）
  - 共同取組活動

多面的機能増進活動

- 景観作物作付け
  （景観作物としてコスモスを約0.05ha作付けた。）
  - 共同取組活動
- 緑肥作物の作付け
  （ブロックローテーションによる休耕田に地力レンゲを作付けた。）
  - 共同取組活動

農業生産活動の体制整備

- 高付加価値型農業の実践
  （エコファーマー）
  - 個別対応
- 担い手への農作業の委託
  （集落の認定農業者に、耕起・代掻き・田植を2.8ha委託。目標0.67ha）
  - 共同取組活動
- 多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落との連携
  （非農家3名を含む地域内環境整備活動を実施）
  - 共同取組活動

３．取組の経緯及び内容

本集落は旧関市に位置しており五法指定地域には該当しないものの、不利な耕作環境に対応するため特認地域として本制度に取り組んでいる。また、前対策の２協定（藤谷・今谷）を１協定に統合して新対策に取り組んでいる。

平成１９年度からは、農地・水・環境保全向上対策への取り組みを開始し、旧藤谷協定内の農家１０名が持続性の高い農業生産方式の認定（エコファーマー）を取得して営農活動支援へ取り組み、５．２haで減農薬栽培を実施した。

また、非農家と連携して集落内の環境整備活動を行うこととし、現在、非農家の３名と共同して農道・水路の草刈り作業、景観形成のための花の植栽、コスモスの播種等に取り組んでいる。

今後は協定参加者の高齢化がさらに進むことが確実視されているため、担い手としての藤谷集落営農組合の体質強化を図っていく。

○農用地等保全マップ

【マップの解説】
- 天水による水田農業につき水路、農道の管理の徹底
- 耕作意欲の喪失にも繋がる獣害の対策

非農家を含めた共同作業

藤谷集落営農組合による浅水代掻き

［平成19年度までの主な効果］
- ○ 高付加価値型農業の実践（エコファーマー）
  （目標５ha、実績5.2ha）
- ○ 担い手への農作業の委託(耕起・代掻き・田植)
  （目標0.67ha、実績2.8ha）
- ○ 多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落との連携(非農家３名を含めた環境整備活動実施)